

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-20-00
基本事業：	03	異文化理解の推進	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	国際交流が推進されていると思う市民の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成25年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
本市及び近郊在住の外国人		学習者（様々な国の外国人）に対応したプログラム（カリキュラム）を基本に、スタッフ（ボランティア）による日本語の学習を進める。 事業概要 開催日時：毎週火曜日10時から12時まで。 （第5週火曜日、祝日、年末年始、お盆を除く） 開催場所：生涯学習センター視聴覚室 定員：20人/1回 利用料金：100円/1回 方 法：マンツーマンを基本				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
本市で暮らしている外国人が、日常生活を営むうえで必要な日本語力を習得するとともに、日本語教室を通じて地域の人との交流、対話を重ねることで相互理解を深め、すべての人にとって暮らしやすいまちとなることを目的とする。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
日本語学習の開催回数	回	37	17	42	44			41
平均受講者数	人	8	5	11	10			10

5. コスト								
事業費	計	千円	118	43	40	40		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	118	43	40	40			
正職員人工数	人工		0.1	0.1	0.1			
正職員人件費	千円		807	803	792			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		925	846	832	40		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	例年、日本語を教えるだけでなく、教材を通じて日本の風習を伝えたり、七夕やお花見などの季節イベントを実施し、外国人の日本や本市への理解が進む学習を行っているが、令和2年度は新型コロナウイルスのため教室実施回数が減り、イベントは実施できなかった。参加者については、介護施設に勤務する学習者をはじめ、高齢者や介護をしている人などが同感染症を理由に参加を控えたため減少している。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	現スタッフ（ボランティア）の高齢化に伴い、体調不良や諸事情による休みが増えており、スタッフの確保が課題となっている。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり					
成果向上余地	大きい							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
成果指標を日本語学習の開催回数から、学習者等へのアンケートによる満足度に変更する。								

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
本市及び近郊在住の外国人の増加に伴い、日常生活等に欠かせない日本語習得のニーズが予想されるとともに、日本語を教えるスタッフ（ボランティア）の確保ができたことから、開設の運びとなった。（平成25年4月開設）				対応するスタッフ数から、1回の学習者（外国人）数を20名を限度とし、学習生の登録制度により、スムーズな教室運営を行っている。				